

科目名	沖縄方言Ⅱ		英文表記	Okinawan Dialect II	平成24年3月
科目コード	2013				
教員名：又吉 元亮					作成
技術職員名：					
対象学科／専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態
全学科	2年	選	履修	1単位	講義
授業期間	前期				
科目目標	①沖縄方言指導者、②琉歌鑑賞、③芝居の台詞理解、④沖縄民謡理解、⑤方言で自己の意見発表				
総合評価	期末テスト(50%)の他に講義中に発せられる小質問(50%)による評価				
達成度目標と評価方法	科目達成度目標			達成度目標の評価方法	
	①	流暢な方言を理解する	⇒	授業中の質問と応答により評価	
	②	琉歌の表記内容を理解する	⇒	琉歌大成から選出した琉歌の読解を口頭試問で評価	
	③	琉球歌劇の鑑賞をして理解する	⇒	泊阿嘉録音により聴取と歌唱をさせて評価	
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	
		◎			
授業概要、方針、履修上の注意	①授業概要 イ・方言単語を豊富にする。 ロ・方言で話す時の雰囲気や体得する。 ハ・方言を聞く能力を養う。 ニ・大勢の前で話す方言。 ホ・禁句の数々。 ②方針 沖縄方言は地域差が大きいので標準的に首里方言に拠る。 ③方言の背景を学ぶ				
教科書・教材	毎回2ページ～4ページのプリントの講師自作テキストを作成して配布する。 (他にも参考図書を探す場合のキーワード：国立国語研究所編 沖縄語辞典)				
授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容		自学自習 (予習・復習)内容
1	方言の形容詞の特徴(1)	2	標準語の形容詞の「しい」という語尾と方言の形容詞の「さん」という語尾など方言の形が著しく異なる		
2	方言の形容詞の特徴(2)	2	同上		
3	方言の形容詞の語尾変化(1)	2	語尾が変化する段階で便宜的に「さん」の変化と「しい」の変化を混同する例を説明する。		
4	方言の形容詞の語尾変化(2)	2	同上		
5	一人称、二人称、三人称代名詞と助詞	2	主格を表す助詞が必要な場合と無用な場合。		
6	話し言葉文(対話)を作成(1)	2	簡単な会話を試み、それを反復可能にする文を作る。		
7	話し言葉文(側聞)を作成(2)	2	うわさ話をする会話を試み反復可能な文にする。		
8	話し言葉文(演説)を作成(1)	2	聴衆に向かって話をする場合を想定して原稿を作る。		
9	挨拶文(対面)を作成(1)	2	日常の挨拶を文にして反復可能にする。		
10	挨拶文(衆人向け)を作成(2)	2	会合などでの挨拶はどうすべきか原稿を作り反復。		
11	敬語の使い方(1)	2	対話の時の敬語はどうすべきか。		
12	敬語の使い方(2)	2	大勢に話しかけるときの敬語はどうすべきか。		
13	琉歌の読み方	2	「琉歌大成」所載の歌の中から撰んで読み方を学ぶ。		
14	琉歌の解釈と鑑賞	2	同上に続いて意味と鑑賞の方法を探る。		
15	琉歌女流歌人恩納ナビとユシヤチル	2	恩納ナビとユシヤチルについて学ぶ。		
期末	期末試験	[2]			

16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
期末	期末試験			
学習時間合計		30	実時間	22.5
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)			標準的所用時間(試行)	
備考欄				
記入無し				

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)